

令和5年度石見養護学校ランドデザイン評価指標

<令和5年度重点目標にかかる学校評価指標について>

石見養護学校 学校運営方針「みちしるべ」より 令和5年度重点目標

①「伝え合う」（コミュニケーション力）

- \*「めざす姿」のそれぞれの以下の部分を重点に取り組む。
  - ・めざす学校の姿 「保護者・地域と連携・協力して、教育効果を高め合う学校」
  - ・めざす児童生徒の姿「思考し、他者に伝え、共に学び合おうとする児童生徒」
  - ・めざす教職員の姿 「組織の一員として共に考え、よりよくしようと行動する教師」
- \*自立活動を中心に全教育活動、日々の学習の中で、伝えたい思いを育て伝える手段を豊かにする。
- \*相手に「伝える」「伝わる」を確認しながら、相手からの発信を受けとめる体験活動を豊かにする。
- \*人権意識を高め、寛容な心で多様な意見を受け止め、ともに考え伝え合い行動する教職員集団をめざす。

② 研修による専門性の向上

- \*OJTにより学び合い高め合う教職員集団をめざす。
- \*自己目標に自身の重点をおきたいテーマを掲げ、研修や実践につなげる。

\*今年度のキーワードは「発信！！」\*

- ・行事等の後はHP掲載へ：掲載したことを教職員・保護者へ知らせる。
- ・保護者へ児童生徒の姿の伝えの具体化、見える化に努める。

		重点目標	具体的方策(手立て)	○評価指標 ★規準
① 伝え合う（コミュニケーション力）	小 中 学 部	自分の思いを伝えたり、相手の思いを受け止めたりする力を養う。	・思いを伝えられたり、相手を意識して聞けたりできるように、伝え合いについての実態を教員間で共通理解を図り、日々の関わりや指導につなげる。 ・児童生徒からの発信を肯定的に受け止め、伝えやすい雰囲気をつくる。	○児童生徒の変容前と変容後の具体的な姿 ★小学部教職員による学期末ごとの話し合いより
	高 等 部	○自分の気持ちを言葉等で伝えると共に、相手の意見を聞いたり、周りの様子を見たりしながら行動する力をつける。	・発言する前に内容について一旦考え、言葉にするように伝える。 ・生徒同士で伝え合う時間を設ける。 ・気になる発言があった場合はできるだけその時に伝えて適切な発言ができるように声かけしていく。	○生徒の変容 ★高等部教職員アンケートの実施による「よい」「向上した」「できた」の割合 A80%以上、B60%以上 C40%以上、D39%以下
	寄 宿 舎 部	○自分の気持ちを相手に伝えたり、相手の気持ちを受け入れたりする力をつける。	・「棟会」や「お話週間」「終礼」などの話し合いの場や表現する場面を設定する。 ・舎生の意見を積極的に求め、その意見を尊重し認めることを心がけて接する。	○生徒の変容 ★指導員で統一した記録や生徒アンケートによる
	人 権 教 育	○人権意識を高め、寛容な心で多様な意見を受け止め、ともに考え伝え合い行動する教職員集団をめざす。	・人権意識に関するアンケート結果での気づきや教職員研修会での学び、人権標語などでの意識づけをととして、日頃の人権意識を高める。	○教職員への人権意識に関するアンケートの実施 ○教職員研修会を年間3回開催 ○教職員向けの人権標語の作成 ★実績 ★学校運営の評価アンケートによる肯定的評価75%以上
① を支える基盤	子 ども 支 援 部	○自他を認め合い、共に活動に取り組もうとする児童生徒を育成する。	・各学級で自分や友だちの良さに気づくための視点を意識していく取組を行う。 ・学校生活全般(学習活動、行事、全校特活、児童生徒会活動等)で、「キラリいわみ」の取組をすすめる。(教職員:児童生徒へ。児童生徒:自分へ、仲間へ) ・仲間の前で、お互いの良さを認め合う場を設定する。	○教職員向けにキラリの日(月末)を設定 ○児童生徒向けに行事後の振り返りでキラリを記入 ○キラリの成果を各学部集会等で伝える場の設定 ★実績 ★児童生徒向け、教職員向けのキラリアンケートによる肯定的意見80% ★児童生徒同士のキラリ星の数の増加(昨年度比)、記入内容の質の向上
	教 務 部	○個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて、児童生徒のICT機器の活用を促進する。	・個別最適な学びや協働的な学びについて、端末の活用例を周知する。 ・図工/美術、総合や作業学習等、共有して使えるテンプレートを作成し、試行、改善していく。 ・端末の利活用促進について話し合う時間を設定する。	○活用例の周知 ★学期に1回 ○共有テンプレートの作成 ★2つ以上 ○話し合う時間の設定(教科検討会での検討事項の周知) ★学期各1回 ○教職員対象に学期毎にアンケートを実施。 ★児童生徒の端末活用が増加:教科毎の使用率の増加(6月にアンケートを実施して増加率を決定)
	事 務 室	○安心安全な教育環境や教職員にとって働きやすい職場の整備・改善を促進する。	・自主的な定期点検や教職員による安全点検のほか、日常の教職員の気づきを受けて環境改善や整備を実施する。 ・教職員の要望等を受け、必要なところから労働環境の改善に努める。 ・照明設備をLED化し、照度を高め、教育環境、教職員の執務環境を改善する。	○教育環境や執務環境の改善 ★LED化事業の施工実績 ★学校運営の評価アンケートによる肯定的評価80%以上
② 専門性の向上	研 究 部	○校内研究(授業づくりおよび授業研等)を通して、共に学び合う機会の充実を図る。	・題材設定のポイントや支援を明確にした授業実践の促進 ・授業実践の前後でのポイントや学びの発信 ・要請訪問での授業づくりの学びの機会の設定 ・所属学部、他学部の授業実践の参観の調整(ICT機器の活用含む) ・児童生徒、障害についての理解を深める研修の実施	○校内研究の取組が授業づくりの学びにつながったか。 ★研究グループ後のアンケートによる満足度80%以上
	保 健 部	○安全や健康に関する正しい知識を身につけるための保健教育を充実させる。	・心身の健康や食に関する情報等を「ほけんだより」や「食育だより」、壁面指導で発信する。 ・健康課題を把握し、心の健康や性に関する指導、生活習慣等に関する授業を実施する。	○おたよりや掲示等による保健及び食育に関する情報発信 ★月1回 ○学級と連携した保健教育の実施 ★年3回程度

- \*今年度のキーワードは「発信!!」\*
- ・行事等の後はHP掲載へ：掲載したことを教職員・保護者へ知らせる。
  - ・保護者へ児童生徒の姿の伝えの具体化、見える化に努める。
  - ・よりよい発信を考え、やってみる1年にしよう。

	重点目標	具体的方策(手立て)	○評価指標 ★規準
*発信する	総務部 ○保護者・地域へ、本校の教育活動を積極的に発信する。	・情報を発信するため、WEBページの更新回数を増やす。 ・WEBページのQRコードや更新情報のお知らせをする。	○WEBページ更新計画を作成し実施 ★更新計画実施率80%以上 ○保護者へ連絡帳にて「更新記事情報+QRコード」を配布 ★5月～3月 月1回程度 ○地域へ本校WEBページのQRコードの公民館便りへの掲載・チラシの掲示依頼 ★公民館(中野、井原、矢上)に依頼できたか 3/3達成
	進路指導部 ○生徒や保護者のニーズを把握し、就労やサービスにかかわる情報などについて、積極的に情報発信を行う。	・生徒、保護者のニーズを把握するためにアンケートを実施し、それらに合った進路情報を発信する。(学部便り内進路コーナー、HP、進路掲示板、みらいカフェなどでの発信) ・みらいカフェ(生徒版、保護者版)を実施し、個のケースに応じた相談を行う。	○アンケートの実施 ★保護者：年1回実施、生徒：年2回実施 ○学部便りに進路コーナーの掲載 ★学期に2回程度 ○みらいカフェ(生徒版・保護者版)の実施 ★学期に1回程度

<地域連携にかかる評価指標について>

○地域連携をすすめる体制の構築について

- ★学校運営の評価アンケートによる肯定的評価80%以上

○県教委実施の生徒対象アンケート

- ★中間評価<年度末評価
- ★「はい」と回答した者 70%以上

(参考)

県教委実施の生徒対象アンケート		R4年度アンケート結果			R5年度
質問		回答者数(A)	(A)のうち「はい」と回答した者数	(A)のうち「はい」と回答した者数	
① 「地域を活用した学習にもっと取り組みたい」「地域の人ともっとかかわりたい」と感じますか	小学部				70%以上
	中学部				
	高等部	4	3	75%	
	参考(R3年度)	高等部	8	5	63%

<センター的機能の評価指標について>

○地域からの要望に応えるための校内体制の構築について

- ★巡回の希望を断った回数 0回

○地域からのニーズの把握について

- ★邑智郡内の各教委や巡回先からの評価の把握 肯定的評価80%以上